

能登教区通信

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

このたび、標記通信2017年4月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

教区教化事業のご案内

◆教区同朋大会について◆ 総合教化本部

- ・日時 2017年6月4日(日) 10時半～15時迄
- ・会場 能登教務所(済美精舎)
- ・テーマ「つながりの再生」
- ・講師 真城 義磨 氏(四国教区善照寺住職 真宗大谷学園専務理事)
- ・参加費 1,000円(弁当付 要事前申込)

詳細は先月号同封のチラシにてご確認の上、是非とも有縁の皆様幅広くお呼びかけください。なお、参加券は組長事務所にありますので、事前に参加費と引き換えにお受け取りください。

◆教区部落差別問題研修会◆ 教区同朋社会推進協議会

- ・日時 2017年4月5日(水) 午前10時～午後3時
- ・講師 伊波 敏男 氏(長野大学客員教授)
- ・講題 病み棄ての戻り道
- ・参加費 無料(但、昼食希望(600円)の場合、要事前申込)
- ・その他 詳細は、先月号に同封の案内をご覧ください。

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・日時 2017年4月15日(土) 午後2時～4時
- ・講師 平野 喜之 氏(金沢教区 浄専寺)
- ・講題 信仰の主観性を超えるという課題
- ・参加費 500円

◆教区坊守会差別問題研修会 兼 教区男女平等参画推進事業◆

教区坊守会・教区同朋社会推進協議会

- ・日時 2017年4月20日(木) 午後1時30分～4時
- ・講師 大窪 祐宣 氏(第2組柳瀬・専勝寺)
- ・講題 お寺における男女平等とは?
- ・参加費 無料
- ・その他 詳細は、先月号に同封の案内をご覧ください。

◆大無量寿経講義◆ 研修部門

- ・日時 2017年5月22日(月)午後1時30分～23日(火)午後2時30分
- ・講師 本多 弘之 氏(親鸞仏教センター所長)
- ・持ち物 『真宗聖典』、念珠、間衣・輪袈裟(有僧籍者のみ)、筆記用具等
- ・参加費 1,000円
- ・備考 教師陞補第2種認定の講座となります。
また、初日の日程終了後、懇親会を予定しております。

※上記の全ての研修会は、どなたでもご参加いただけます。

教化事業・その他行事のご報告

◆青年研修会◆ 青少幼年部門主催



去る2月24日(金)、能登教務所を会場に、今年も青年研修会が開催された。テーマは「寺っているがんけ?」。このテーマは、寺院に参拝する機会が少ない青年層が、寺族と門徒という立場を超えて、寺を、そして仏法を語り合うことを願いとした。講師として、本山青少幼年センター主幹、松田亜世氏を迎え、お話を頂いた後、座談会を行った。

元々寺院出身ではない松田氏が、どのようにして仏法に、そして真宗に出あったのか、御自身の経験をもとにお話された。お話の後は班に分かれての座談会。参加者の多くは座談会というものの自体、初めての体験という方が殆どだったが、松田氏が、参加者同士の緊張を解すように、軽いゲームなどを取り入れてくださったこともあり、それぞれの班で多くの意見が飛び交う有意義な座談会となった。座談会の後には、暫眠室で懇親会を行い、地物食材を使った料理を囲み、お酒も入ったことで、参加者は座談会の時以上に、普段考えていてもなかなか口に出せない疑問や悩みなど、大いに語り合うことができた。

平日の夜ということで、仕事の都合で参加できなかった方、途中退席せざるを得なかった方もおられたが、今回のように、気張らずに語り合える機会を今後も考えていきたい。

〈青少幼年部門副部長 大橋友祥 記〉



◆連続教学講座◆ 研修部門主催



去る2月8(水)～9日(木)に第16期目の連続教学講座の第一回目が行われた。講師は藤場俊基氏。担当班が事前学習を経て、共同訳と疑問点の発題をおこなった。テキストは『浄土論註』。以前からの続きで、内容は論註上巻後半の不虛作住持功德の部分ではあったが、新しい受講者が多く参加していることもあり、担当班発表後に講師より論註が書き出される背景や前半部分の概略の話をいただいた。その際の話は龍樹・菩提流支・曇鸞の人となり浮かんでくるようであり難かった。不虛作住持功德については

その後の菩薩功德の部分へと課題が続いていくことが感じられた。また「空過者」とは誰に呼びかけられているのかについて、あらためて考えさせられた。

〈第2組 西教寺 竹津篤義 記〉

◆歎異抄講座◆ 研修部門主催

去る3月14日(火)に2016年度第2回歎異抄講座が、山田恵文氏(大谷大学専任講師)をお迎えし、開催された。

第3条は「悪人成仏」である。自分自身を悪人と自覚する事は非常に難しい。事実としては悪人である。自分自身に痛みを持って生きているから。しかし、意識は善人である。他者よりはまし、過去よりはましと思う心。どこまでも善人意識から離れられない。難信である。自力作善の人は自分の人生を傷つけ、他人の人生を傷つける。他人の痛み苦しみが見えていない世界。人間の無明を明らかにしている。

第4条は慈悲がテーマ。「聖道・浄土のかわりめあり」他者を救う自分から、如来の慈悲への目覚めは自力作善の私を対象にかけられている慈悲である。「念仏していそぎ仏になりて」は自信、「おもうがごとく衆生を利益する」は教人信である。法然に出遇って念仏者となった親鸞自身の体験である。私自身が大悲の対象であると自覚せしめられる事が如来の教化であることをいっているのが第4条であるご講義いただいた。

〈研修部門 松山 宗恵 記〉



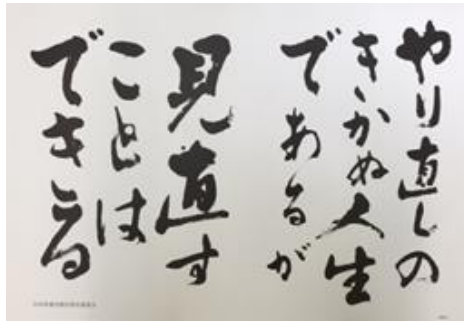
本山・教区事務についてのご連絡

◇法語ポスターについて◇

先月号にてお知らせの通り、過去の教化資料として教務所に置いておりました、法語ポスターを希望される方にお譲りしております。既に多くのお問い合わせをいただき、多くの種類の在庫がなくなりました。まだお譲り可能なものは下記の通り(3月24日現在)ですので、お早めにご連絡ください。

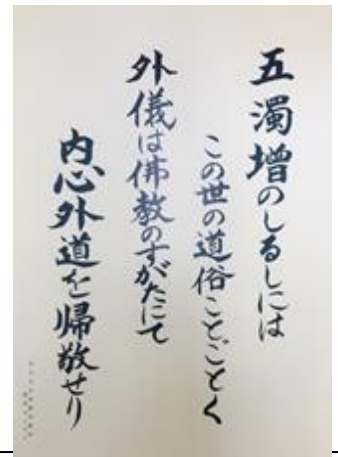
①藤代聡磨

(78cm×54cm/白/1992年/在庫1枚)



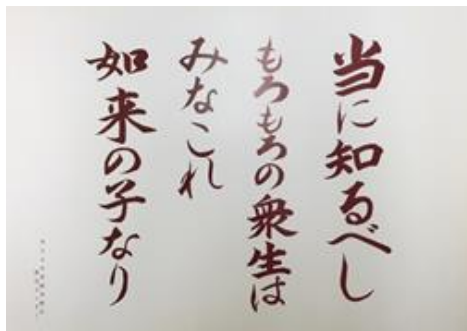
⑩五濁増のしるしには

(44cm×63cm/
白地青文字/在庫388枚)



⑪当に知るべし

(63cm×44cm/白地赤文字/在庫339枚)



◇住職就任◇(教区通信3月号 掲載以降)

第13組	明願寺	藤井 良秀	2017年2月28日
第14組	浄願寺	竹原 了珠	2017年2月28日

◇代務者就任◇(教区通信3月号 掲載以降)

第2組	本泉寺支坊	金沢教区第8組	本泉寺	住職	松原 等	2017年3月10日
第10組	専稱寺	第10組	嚴徳寺	住職	秦 賢良	2017年3月10日

◇敬弔◇(教区通信3月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第10組	光行寺	前坊守	英 眞智子	2017年2月28日
第6組	浄方寺	前坊守	滝本 みち江	2017年3月1日

◇本山経常費完納寺院◇(2017.2.1~2.28迄)

2016年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。
 ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第3山方組	照明寺	照願寺	鶴川組	光明寺	善行寺
第5組	應覺寺		第11組	光称寺	
第7組	専照寺		第12組	成宗寺	
第8組	名船寺	長明寺			

◇熊本地震救援金現況◇

能登教区救援金現況 **4,004,885円** (3月24日現在)

内訳	金額
・教区内救援金(寺院)	3,180,474円
・教区内救援金(団体・個人等)	524,411円
・教区救援金会計からの拠出	300,000円

全額を宗派救援金口座へ送金

引き続き、救援金勧募にご協力くださいますようお願いいたします。

救援金受付口座

<郵便振替口座> 00710-5-3866

<加入者名> 真宗大谷派能登教務所

※通信欄に必ず「熊本地震災害救援金」と明記してください

◇おすすめ出版物の紹介◇



仏事に際していただく「お斎(とき)」には、縁ある者が共にいのちをいただくという心が込められています。そのお斎の精神を大切に、京都で生まれ育った料理家・大原千鶴さんが、京都・東本願寺発の「お斎レシピ」として、日々の食事にも使える精進料理のレシピにアレンジしました。

お寺でのお斎や日常の食事での一品に、きっと参考になるレシピ集です。

《B5版/96ページ/1,555円》

小松大谷高校の生徒さんが、「宗教」の授業や本山での研修を通して学んだことを記した作文集です。これまで30年以上にわたり発行され、本山や大谷派関係学校、小松・大聖寺教区の寺院等に配布されています。

いまの若者が、同校宗教科の先生方と学び、ふれた現実の声を、ぜひ感じてみませんか？

《文庫版/75ページ/無償》



※この教区通信は済美精舎ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。適宜ご利用ください。

能登教区教化テーマ

ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう

能登教区教化スローガン

一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を

済美精舎ホームページアドレス

<http://notokyouku.sakura.ne.jp>